

検査受託中止のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、下記項目につきまして受託を中止させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

ご利用いただいております先生方には多大なご迷惑をおかけしますが、何とぞよろしくご理解、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬白

記

- 最終受託日 平成30年9月28日（金）
- 中止項目 RAS遺伝子検査（項目コード：8494） 検査案内 p179 掲載
- 中止理由 新規収載項目（BRAF遺伝子検査）の受託開始に伴う項目移行のため
- 代替項目 RAS・BRAF遺伝子検査（項目コード：2625）をご利用下さい。

〔RAS・BRAF遺伝子検査〕

検査項目	検体量 (mL) 保存法	検査方法	実施料点数	所 日 要 数	備 考
2625 RAS・BRAF遺伝子 検査	未染標本スライド ^{注1)} 5枚 (5~10μm厚) 室温	PCR-rSSO	4,000点 ^{注2)} (2,500点+2,100点)	6~9日	単独依頼 <small>注3)</small>

注1) 未染標本スライド材料をご提出の際には、ホルマリン固定パラフィン包埋組織ブロックより厚さ5~10μmにて連続切片を作製下さい。作製したスライドはケースに入れ、室温保存にて速やかにご提出下さい。また、未染標本スライドは、HE染色標本により腫瘍細胞が含有されていることを事前に確認の上、ご提出をお願いします。

病理検査材料は、組織のホルマリン固定により核酸が断片化されているため、固定液の種類や組成、固定時間、固定後の検体の保存状態によっては解析不可能となることがありますので、予めご了承下さい。

注2) 切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療選択の補助を目的として検査を実施した場合に、実施料点数4,000点：〔D004-2〕悪性腫瘍組織検査〔1〕悪性腫瘍遺伝子検査〔イ2項目包括〕「RAS遺伝子検査」および「BRAF遺伝子検査」の算定が可能です。

なお、早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外を目的に本検査を実施した場合は、「BRAF遺伝子検査」として2,100点のみ算定可能です。

判断料：尿・糞便等検査34点

注3) 本検査に使用する組織片は、病理組織学的な評価がなされ、腫瘍組織の存在や含有量が確認されていることが受託の必須条件となります。病理材料でRAS及びBRAF遺伝子（KRAS遺伝子、NRAS遺伝子ともに exon2 codon12, 13, exon3 codon59, 61, exon4 codon117, 146 を、BRAF遺伝子は、exon15 codon600）の変異解析を目的としています。病理材料以外は受託できません。

以上

*お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション
2018-A-029